

<別紙1>

## 第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社プレパレーション

② 施設・事業所情報

名称： 横浜茅ヶ崎保育園	種別： 認可保育園	
代表者氏名： 木村珠枝	定員（利用人数）： 135 名	
所在地： 横浜市都筑区茅ヶ崎南1-12-1		
TEL： 045-941-2172	ホームページ： <a href="http://kuonen.kids.coocan.jp/">http://kuonen.kids.coocan.jp/</a>	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日 令和3年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人「久遠園」		
職員数	常勤職員： 22名 非常勤職員 26名	
専門職員	保育士：園長 1名 看護師：1名	
	保育士：主任 1名 栄養士：3名	
	保育士：30名 調理員：5名	
施設・設備 の概要	(居室数) (設備等)	
	保育室 7室（乳児室 4室） （幼児室 3室）	子どもトイレ 乳児2ヶ所（9） 幼児1ヶ所（10）
	遊戯室 1室	大人トイレ 1F（3）2F（2）
	サロン 1室	園庭 有（○）無（ ）
	調理室 1室 予備室 1室	建物の構造：鉄骨作り2階建て 建物延べ床面積：1011,47㎡ 園庭：1993㎡
	調乳室 1室	
	職員更衣室 1室	駐車場・駐輪場

③理念・基本方針

【理念】
・健康で「心豊かな子」の育成に心を尽くし、社会に貢献する
・保育の質向上に努める
【基本方針】
安全な環境のもとで、子どもが安心して生活できる保育を提供します
子どもの健康を守り、基礎体力の増進を心掛けます
多様でゆとりのある保育プログラムを工夫し、豊かな情操を育てます
集団生活の経験を生かして、フェアな心の芽を育てます
人と関わる楽しさを育み、コミュニケーション能力の基礎を育てます

④施設・事業所の特徴的な取組

横浜市より民間移管を受け3年目、コロナ禍の中での引継ぎだった為、公立園での活動も制限を受けた状態での内容となっていました。今までの園生活の様子を口頭で聞きながら、法人園の保育と互いの良いところが取り入れられる環境作りを心掛けて
---

きました。専門講師による「絵画・リトミック・剣道」を日常の保育の中に取り入れ、色々な経験や体験を通して心を育てる事に力を入れています。また、地域の豊かな自然環境を活かし園外の保育を多く取り入れ活動する中で、自分で考え、感じる力を育て、歩くことを基本に体力の向上に取り組んでいます。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2023年6月13日（契約日） ～ 2023年12月20日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	0回（ 年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点

○園独自の活動に取り組んでいます

園目標に、「こころもからだもいっぱい動かそう」と掲げており、子どもは様々な活動に取り組んでいます。日中活動では、専門講師による“リトミック”“絵画”“剣道”に取り組んでいます。絵画では、3・4歳児は職員がパレットに絵の具を出していますが、5歳児になると自分でパレットに絵の具を出すことが出来るようになります。子どもが描く絵は、年齢と共に使う色が増えたり、細かいところまで表現したり作品を見ることで、子どもの成長が感じられます。今年度から職員の発案で、幼児だけでなく乳児も音楽を楽しむ機会として、リトミックを取り入れました。園では、子どもが様々な体験ができるよう取り組んでいます。

○民間保育園になり新しい保育園づくりに取り組んでいます

園は、令和3年4月に横浜市からの民間移管を受けており、年長児は公立保育園から通園している子どもたちです。民間移管にあたって、保護者から「今までにない行事をして欲しい」との要望を受けて、職員が検討を重ねて、年長児の夏の行事「まなつのだいぼうげん」を企画・実施しました。子どもの知らない夜の保育園として午後8時まで、夜のぼうげん（お化け屋敷）、キャンプファイヤー、アイスを食べながらの花火鑑賞と盛りだくさんの活動をおこないました。保護者アンケートでは、「子どもが喜んでいて」などの声が多くあり、この行事のねらいである、「友だちと一緒に保育園で夏の思い出をつくる」に沿った内容となっております。園では、保護者の意見・要望に向き合い、質の高い保育を目指して取り組んでいます。

○個々に合った個別の保育を目指し、より質の高いサービスの提供が望まれます

園は市から運営を移管されて三年目で、安心安全な保育を提供するとともに、これまでは新しい組織の構築や民間運営である特色を出すことに注力してきました。これからはさらに質の高いこども一人ひとりに合わせた個別のサービスを提供していくことが望まれます。

○限られた職員数で保護者とのコミュニケーションをより多くとることが望まれます  
新しい組織体制が定着し始めた状況で、各年齢に合わせた教育プログラムや園独自のイベント開催など、子どもが健康で心豊かな子に育つような取り組みに努めています。そのような取り組みの他に、これからは限られた職員数で保護者ともより多くのコミュニケーションをとれるように業務の効率化を図ることなどが望まれます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

開園から3年目、初めての第三者評価の受審をしました。日々の保育の振り返りはもちろんですが、今足りないもの、必要なものを自己評価や第三者評価機関の方から評価をいただき保育の見直しをしてまいります。組織として地域に貢献できるよう、園庭開放にとどまらず、より良い福祉サービスの提供が行えるように活動を進めてまいりたいと思います。

これからも自然環境を生かした保育に取り組み、子どもたちがわくわくするような体験ができるよう、職員は子どもたち一人ひとりの声に耳を傾け、安心して自己発揮できるように保育を進め「知っている」がゆっくと「自信」に繋がるように、個々の力を見守り、育てる保育に尽力いたします。保護者のみな様にはお忙しい中アンケートにもご協力いただきありがとうございました。頂きましたご意見は、職員間でしっかり共有し今後の保育に活かしてまいりたいと思います。保護者のみな様と子育ての楽しさと喜びを共有できるよう、ドキュメンテーション等の学びを行いながら、よりよくコミュニケーションが行えますように、子どもたち一人ひとりに寄り添う保育を心掛け職員一同質の向上に努めてまいります。評価機関のみな様におかれましては、丁寧な調査をしていただきありがとうございます。こころより感謝申し上げます。

横浜茅ヶ崎保育園 園長 木村珠枝

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり